



令和4年度 学校だより

はがきた

第1号 令和4年4月22日

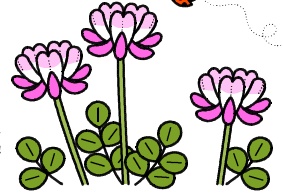
教育目標

『学ぶ子 守る子 がんばる子』
集中して学び、生命と人権を
守り、生きる力の基礎を身に
付けた子どもを育成する。

令和4年度が始まりました！

桜の木には若葉が芽吹き、菜の花やチューリップなど様々な花が咲き誇る春となりました。今月8日(金)には始業式、11日(月)には入学式が行われ、令和4年度の芳賀北小学校が始まりました。66名の元気な1年生が仲間入りし、今年度は、児童325名、教職員33名でのスタートとなりました。今年度も教職員が一丸となり、学校教育目標である「学ぶ子 守る子 がんばる子」の育成を目指し、「知・徳・体」のバランスの取れた教育実践を進めて参ります。

今、コロナ渦にあり、学校生活は様々な制限を余儀なくされています。しかし、どうすれば実践できるかを考え、なんとか教育活動を続けてまいります。御理解いただければと思います。また、今年度も、学校が取り組んでいる教育活動や児童の様子などを、学校だより、学年だより、ホームページなど、様々な方法で情報発信してまいります。芳賀北小について少しでも多くのことを知っていただき、御支援、御協力いただきたいと思ひます。教育活動は、保護者の皆様や地域の皆様、教職員、関係諸機関等が一体となり進めていくことが必要不可欠です。よろしくお願ひいたします。



新1年生、元気に入学!!

11日(月)に入学式が行われました。令和4年度は、66名の元気な新1年生を迎えました。入学式では、緊張しながら真剣な表情で式に臨み元気で素晴らしい返事をして立ち上がる姿がたいへん印象的でした。このような立派な1年生をお預かりすることに、職員一同、大きな責任を感じています。今後、学校生活を通じて、様々な学習たりや経験を積み重ねたりし、さらに大きく成長していくと思ひます。私たちは保護者の皆様と連携し、子どもたちの成長の手助けをしていきます。御協力の程よろしくお願ひいたします。



御協力の程よろしくお願ひいたします。



保護者会

4/20(水)の授業参観と保護者会には、お忙しい中たくさんの保護者の方に参加していただきありがとうございました。新しい学年学級でのお子様の様子はいかがでしょうか。十分な時間の参観ではなかったかもしれませんが、今後も、学校での学習や生活の様子の発信に努めて参ります。保護者の皆様と、多くの情報共有ができればと考えています。楽しい相談になるといいですね。御協力よろしくお願ひいたします。

令和4年度職員紹介「よろしくお願ひいたします。」

職・担任	氏名	職・担任	氏名	職・担任	氏名
校長	小堀 隆	3-2担任	永留 舞子	ひばり⑩学級担任	西原 直輝
教頭	手塚 幸子	4-1担任	高橋 鮎美	特別支援教育補助員	長谷川英子
教務主任	大関 勲	4-2担任	永井 努	養護教諭	金田美有希
学力向上推進リーダー	小堀 美樹	中学年TT	植木 篤子	事務長	片岡 信幸
研究主任	神田 真美	5-1担任	富士井 慶	初任者指導	鈴木 伸治
1-1担任	佐藤 春奈	5-2担任	諏訪穂乃香	学校栄養士	矢野 久乃
1-2担任	大木 桃佳	6-1担任	添谷 英司	用務員	塩澤 敦子
2-1担任	綱川 保奈	6-2担任	萩原 晴香	司書	谷中亜希子
2-2担任	永井 達也	高学年TT	小林 里実	外国語専科	安田 愛美
低学年TT	高松 伸子	つばめ学級担任	佐々木浩子	ALT	アドリアナ・ガリア
3-1担任	大滝由佳里	ひばり⑩学級担任	戸倉 広普	JTE	市川千賀子

☆児童たちの活躍・学校生活の様子☆



【入学式】(1年)

入学おめでとう



【全国学力・学習状況調査】(6年)

【とちぎっ子学習状況調査】(4年)

【授業参観】(5年)



【授業の様子】(1年)お絵かき

(2年)よく手が挙げります

(3年)タブレットを使っています



地域とともにある学校

1999年に上稲毛田小が芳志戸小に編入し、2003年、芳志戸小と下高根沢小が統合して現在の芳賀北小が開校しました。今年でちょうど20年目となります。また、下高根沢小が開校してからと考えると、実に148年目を迎えています。長い年月、本校は地域の皆様の御支援御協力の下、歴史を刻んできました。その中で、多くの児童が本校を巣立っていくことができたのは、地域の皆様のお力添えがあってのことです。今も多くの地域の皆様のおかげで、明るく元気で素直な児童が育っています。地域の皆様の御協力をたいへんありがたく感じています。



「地域とともにある学校」とは、地域の方に御協力いただく学校ではありません。もちろん協力なくして学校は成り立ちません。多くの体験や学びは、学校だけでは完結しないからです。「あいさつ」ならば、学んだだけでなく、時と場、場合を考え適したあいさつをするなど、校外での多くの経験が必要となります。しかし今、全国的に社会の構造が変化し、人と人との繋がりが希薄になってきています。また、少子化が進み、隣の家には子どもがいないなど、さらに繋がりがもてない状況もあります。あいさつでさえできない環境になっています。家庭状況が違っているわけですから仕方ありません。そんなとき、子どもがいてもいなくても、**学校や子どもを中核とし地域と関わる**ことができれば、お互いにとって**足りないことが補い合える**と思うのです。

もし学校帰りに泣いている児童がいるとき、〇〇さん宅の△△ちゃんということがわかれば、話を聞いてあげたり見守ったりすることができます。子どもを中心に繋がり、**地域の中で子どもが成長する**わけです。地域行事への参加にも繋がると思います。それが「地域とともにある学校」だと思うのです。



未来の地域の担い手である子どもの成長を支援するためには、**学校も地域も同じ目標をもつことが重要**です。学校と地域が両輪となり、子どもたちの成長を後押ししていければと思います。近年コロナ渦にあり、人が対面で集まるのが難しくなっています。どうすればできるかを模索し、できることを増やしていくしかありません。まずは、マスクをしていればできる**元気な「あいさつ」**で繋がっていきましょう。

※芳賀北小ホームページでは、カラーで学校だよりを掲載しています。ぜひ御覧ください。